

2025年度 COILプログラム実施報告

南京農業大学（江蘇省）・安徽工程大学（安徽省）との学術交流

下地 早智子 教授
研究指導3・4年（中国御学・文学）
使用ツール：ZOOM, PowerPoint

◎ 実施の到達目標

- ◆ **文法と発想の対照研究:** 「中国語らしい言い回し」の背景にある日中の発想の違いを文法的側面から解明する。
- ◆ **多角的な言語観の確立:** 中国語研究を通じ、翻って自らの母語である日本語を客観的に再認識する視点を養う。

⊕ COIL実施のねらい

- ◆ **実践的スキルの相対化:** 日本体験のない学生との交流で、自身の語彙力・瞬発力の現在地を実地で確認する。
- ◆ **日中相互理解の深化:** コミュニケーションの現場における「物の見方・考え方」の違いを多面的に観察する。

🗨️ 同期型オンライン交流の記録

第1回

大学と所在地の紹介

所属大学とその所在地を紹介する発表を双方学生が予め準備し、それぞれの学習言語（本学は中国語、先方は日本語）で発表を行った。

第2回

学習言語での自己PR

第1回と同様、それぞれの学習言語で発表と質疑応答を実施した。表現の難しさや固有名詞へ咄嗟の理解等を課題と感じた学生が多く、学びに繋がった。

第3回

「推し」の紹介

本学学生からの発話機会の充実希望を受け、本学学生1人：先方3~4人というグループで実施。同世代の関心事で活発な質疑が展開された。

🎯 学修成果

🗨️ 実践的語学力の相対化

先方学生との対話を通じ、語彙不足や「簡単な内容を表現できないもどかしさ」を痛感。自律的な学習課題が明確化した。

🔍 対照言語研究の深化

文法側面から「中国語らしい発想」への理解を深めると同時に、相手の視点を通じ新たな日本語観を獲得に繋げることができた。

🧠 自信の醸成と学習意欲

中国語の発音を高く評価されたことが自信に繋がり、先方の高度な日本語能力への驚きが更なる学習への動機付けとなった。

👥 学術ネットワークの形成

参加した先方大学院生へ本学学生が研究相談を行う等、授業の枠を超えて、事後も継続する主体的な研究コミュニティの形成に繋がった。